

# 第19回環境コミュニケーション大賞 「環境活動レポート部門」作品募集

環境コミュニケーション大賞は、優れた環境報告書等を表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。

主催 環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム

協賛 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会

協力 一般財団法人持続性推進機構、日本公認会計士協会

後援 株式会社東洋経済新報社、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、株式会社日本取引所グループ

エントリー開始  
10月8日 木

エントリー締切

11月13日 金

当日消印有効

奮ってご応募ください!

## 表彰機会の拡充

近年環境活動レポートの水準が高くなっていることから、一定水準以上のレポートのうち、同業他社や同等規模の事業者の参考になる報告書を優良賞として表彰します。

## 全応募事業者へのフィードバック

環境コミュニケーションに様々な立場から携わる専門家による、今後のレポート作成に役立つフィードバックを全応募業者に個別に行います。

受賞者の  
声

第18回環境コミュニケーション大賞  
環境活動レポート部門大賞受賞

イワヤ株式会社

### 環境報告大賞を受賞して

当社では、以前から「Smile Green」を環境スローガンとして掲げ、「子ども達の未来が笑顔であふれるように、今、私達ができる事、すべき事を私達自身も笑顔で楽しく行動していこう!」という想いを持ちながらCSR活動に取り組み、CSRレポートを作成していました。その後、2013年にエコアクション2.1の認証取得をし、環境活動レポートを同様の思いのもと、作成しています。

環境コミュニケーション大賞で「大賞」を受賞したことは、「私達ができる事」として、社内でエコ検定の取得を奨励したり、部署ごとで省エネの取組を提案したりするなどの環境への取組を進める上で、これまでの活動に対する自信や社員のモチベーションの向上につながったと実感しています。

### 第18回環境コミュニケーション大賞受賞作品への講評（表彰式パンフレットより）

玩具等の企画・開発製造・販売を行っている事業者として、優しい色使いとキャラクターを用い可愛さを感じさせるレポートは、事業内容と調和しており、読み手である消費者、特に子供を持つ家庭を意識したデザイン・構成で大変わかりやすい環境活動レポートです。環境方針の内容、環境目標達成の手段、結果の評価と考察も明快です。また、社内における環境活動推進の基軸となるPOPの内容にもセンスが感じられ、環境活動に会社が注力していることがうかがえ、従業員の環境意識を高めることの一助となっていることが推察されます。

環境法令と実施状況の評価も他社の手本となる内容です。本業に関連し、ソーラー電池で動く製品や、FSC認証木材を使った製品を扱っていることは評価されます。今後は、現在検討中とされる蓄電池を使った玩具の開発が期待されます。

### 環境コミュニケーションの取組で意識していること

当社が環境活動レポートを作成するに当たり意識していることは、読者を具体的にイメージしながら作成するという事です。玩具メーカーとして、「おもちゃを通じて子ども達に環境メッセージを伝えたい」という想いもあり、双方向のコミュニケーションができる玩具の製造に取り組んできました。

レポートも、子ども達にとって親しみやすいものを作成することで、実際に読んで理解してもらえるレポートとなるよう、意識して作成しています。



社員の方々



子どもたちの笑顔と明るい未来に  
思いを込めた商品



### 企業概要

設立 昭和30年  
所在地 東京都足立区  
従業員数 30名  
業態 玩具等の企画・開発、  
製造・販売

第18回環境コミュニケーション大賞  
環境レポート部門大賞受賞

イワヤ株式会社  
環境活動レポート2013年度版  
(2014年9月発行)

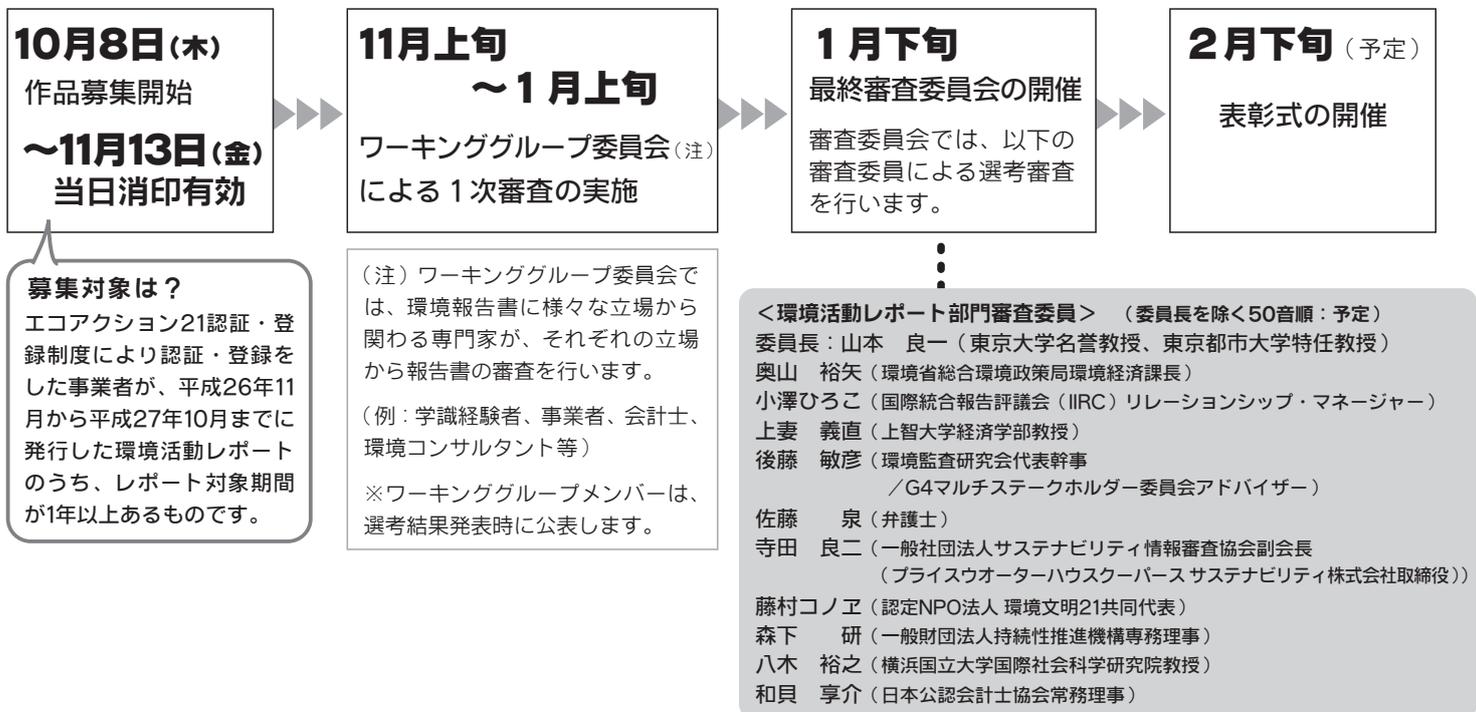
## 平成27年度環境コミュニケーション大賞運営方針

環境問題が大規模かつ複雑になっている現在、中小企業が環境経営に取り組むことが一層期待されています。例えば、大企業は自社の取組だけでなく、バリューチェーン、中でもサプライチェーンでの環境・社会影響にも責任を問われることも増えてきています。そこで、一次取引先だけでなく、最上流までグリーン購買・CSR購買を広げつつあります。今年11月に開催される気候変動枠組条約締結国会議（COP21）では2020年以降の枠組みが確定することになっており、我が国においても、2030年までに2013年比で温室効果ガス26%削減を掲げ、その目標達成のための対策を一層強化しています。

こうした状況の中で、自ら環境等に取り組み、積極的に情報発信を行うことは、企業の持続可能な発展には欠かせない活動と言えます。その有効な手段がエコアクション21であり、環境活動レポートです。簡潔かつ読みやすい環境活動レポートはステークホルダーの信頼を高めます。それだけでなく、企業にとって重要なステークホルダーである従業員の誇りにもなり生産性向上にもつながります。

このような中、第19回環境コミュニケーション大賞は、多様な立場の専門家による審査を実現するとともに、応募された全レポートに対しフィードバックを行うことで、応募事業者の環境コミュニケーションの質の向上に取り組みます。

## 第19回環境コミュニケーション大賞のスケジュール



### 第19回環境コミュニケーション大賞 審査委員長 山本良一氏からのメッセージ



山本良一氏

環境コミュニケーション大賞は、前身の「環境アクションプラン大賞」や「環境レポート大賞」もあわせると、今年で19回目を迎えます。その間、企業の環境報告を取り巻く環境は大きく変わってきました。様々な地球環境問題が「待ったなし」の局面を迎える中で、全ての事業者が、それぞれの事業活動を通じてどのように環境に貢献できるかを開示することは、今後ますます重要なことになっていきます。ぜひ、貴社の環境コミュニケーションのあり方について考えるきっかけとして、第19回環境コミュニケーション大賞へご応募いただければと思います。

#### ●本事業について

環境省総合環境政策局環境経済課  
課長補佐：齋藤 担当：大川、永宮  
電話：03-5521-8240

#### ●お申込等に関するお問合せ（事務局）

株式会社ダイナックス都市環境研究所  
担当：谷口、北本、佐久間  
〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5TKK 西新橋ビル3F  
電話：03-3580-8221 メール：eco-com19@dynax-eco.com